

AIRY

Association for International Relations in Yamagata

2023年3月

vol.100



機関誌AIRYは100号を迎えました!

「山形で働く外国人」



フランス出身

ブルーノ・
ピーフルさん
(大石田町在住・陶芸家)

■ どういう経緯で山形にいらっしゃったんですか？

私は焼き物を作っており、一番土台になるものは粘土です。ここでいい土がとれるということで大石田に来ました。県の工業技術センターから土質に関する情報提供を受けたため、ここに来てサンプルを採取し、実験を経て引っ越しを決めました。

大石田に来てもう30年以上になります。こちらで土地を見つけ、10年くらいかけて家を建てました。石や土など、全て自然からとれる材料を使っています。今も建築作業は続いています。死ぬまでずっと続けるでしょうね。

■ どんなお仕事をされているんですか？

焼き物を作って展覧会を開いたり、地元の子供を対象に陶芸を教えたりしています。大石田が陶芸の町になってほしいと考えており、そのためには人の輪を広げる必要があります。外から人を呼びにしても、教えるにしても長い時間がかかります。

焼き物は壊れない限りずっと残りますから、未来の人々に宛てたメッセージになると考えています。未来の人が私の作品を見て、「昔こういうことを考えている人がいたんだな」と思ってくればいいですね。

■ 生活の中でどのようなことを感じますか？

安い製品を買う人が増えたため、職人の高い技術を継承する人が少なくなりました。いったん失われた技術を取り戻すことは難しい。使い捨て文化をととも残念に感じます。「今が良ければいい」というのではなく、「将来の日本があるべき姿」について考える必要があると思います。

県内国際交流関係団体へのインタビュー

川西町国際交流協会「煌（ファン）」

事務局長 リチャード・チンさん

■ 川西町国際交流協会とはどういう団体ですか？

2010年に設立された民間団体で、諸外国の人々との交流を通して国際化への理解を深めると共に友情を育むことを目的とし、マレーシアとの交流事業、山形大学留学生や「世界青年の船」のホームステイ受入事業などを行っています。

■ どんな活動をしていますか？

昨年はマレーシアとの交流10周年の記念式典を行い、マレーシアからNGO団体や行政関係者など多くの方々にご臨席いただきました。また、新型コロナウイルス感染症による渡航規制が始まる前は、1年おきに相互の地域を訪問しており、協会会員や町内の中高学生などを連れてマレーシアに渡航しました。海外を知ることによって子供たちがどんどん変わっていく姿にやりがいやうれしさを感じています。

留学生との交流事業では町内のお母さんたちに芋煮や漬物を作ってもらい、皆さんに振る舞ったところ大好評でした。忘れられないのは町の人達が「外国人もこういう飯食うんだな」と喜んでくれたことです。外国人は言葉や肌の色など「違う」ところが強調されがちですが、同じ人間として共通点が多いことを分かってもらいたいと思っています。

■ 活動に伴う苦勞などはありますか？

民間の団体なので資金調達に苦勞しています。助成金や補助金を申請し事業を行っていますが、財源の性質上、事業の継続性に課題があります。なるべく経費がかからないよう、安価な方法を探すなどの工夫をしています。

■ 活動に参加するにはどのような方法がありますか？

興味がある方は直接連絡をいただければと思います。また、賛助会員には活動の情報などを随時メールでお知らせしています。

(連絡先:kawanisifun@gmail.com)



マレーシアとの交流10周年記念式典後の懇親会にて

ワールドカフェ in おおえ ～ウクライナ編～ を実施しました

米沢市ウクライナ避難民・多文化共生支援員のヴラッド・マレンコヴさん（ウクライナ東部出身）を講師に迎え、ウクライナの文化や戦禍の厳しい現状などを学ぶ講座を大江町中央公民館で実施しました。

ヴラッドさんは、来日の経緯、国旗の意味、ウクライナの地理・言語・宗教・年中行事・料理・民族衣装・歴史、そしてロシアによるウクライナ侵攻について、熱のこもったお話をされました。

講演には県内外から申し込みがあった 21 人が参加し、「ウクライナの文化や戦争、政治など、詳しく説明していただき良かったです」「一刻も早く平和が訪れることを願います」などの感想が寄せられました。



国際交流サポーターの活動紹介

海外県人会の担い手育成を支援する県の事業として、ブラジルとペルーの県人会から2名の若者が11日間山形に滞在した際、「語学」と「ホストファミリー」として、計3名のサポーターに活動していただきました。

■ホストファミリー

長澤パティ真理さん：ペルーから来た加藤キミさんのホストファミリーを受け、素敵な思い出をさせていただきました。雪の露天風呂に始まり、音楽会、着物を着ての撮影会、小中学生や縁のある方々との交流、納豆工場見学などを一緒に楽しみました。

佐藤みずほさん：ブラジルから来た妻沼ジョアンさんが我が家にホームステイ。蔵王や霞城公園など市内を観光したり、芋煮を作ったり、さらに-9℃の大寒波も体験。私たちもブラジル・日系社会のイマ、まだまだ知らなかったことに触れる機会になりました！



最上義光歴史館にて
(左端が長澤さん、右端が佐藤さん)

■語学（スペイン語）

山口志津子さん：加藤さんの通訳として成田空港でお出迎えし、居合、蕎麦打ち、けん玉絵付け、御先祖の出身地である大石田で中学生との交流会に同行しました。素晴らしい事業に関われたことに心から感謝します。



山形駅にて(中央が山口さん)

ムエタイ世界王者、山形県国際交流協会に現る！

12月、山形県キックボクシング連盟会長の齋藤智宏さん、ムエタイ世界王者のイムウィセツ・ポーナライさん、海外での試合戦績を持つムエタイ山形県代表の齋藤蒼真さんがAIRYを訪問されました。

ポーナライさんはタイ出身で、山形市内のキックボクシングジムにおいてムエタイを指導しています（機関誌AIRY99号「山形で働く外国人」にも掲載されています）。今回は世界大会「ONE championship」の参戦報告にいらっやいました。

大会の魅力についてお話しいただいたほか、世界や日本、また山形におけるムエタイ競技の振興をはじめ、山形とタイとの交流促進などについて説明をいただきました。



左から県代表の齋藤さん、世界王者のポーナライさん、当協会理事長、県キックボクシング連盟会長の齋藤さん

ちょこっと

JICA

国際協力推進員コーナー

【帰国隊員きらりびと☆『大好きな庄内で 柿の魅力発信！（佐久間麻都香さん、鶴岡市在住）』】

西アフリカ・ブルキナファソで稲作指導の活動をしていた佐久間さん。帰国後は大好きな庄内の自然に囲まれながら柿農家をしています。また同じく庄内を愛する仲間達と一緒に起業し「継続的な生産と消費」「人々の生活を支えてきた伝統食を現代のライフスタイルに寄り添った形へ」「地域との繋がりが商品を生み出す」などを大切に地域と寄り添いながら庄内柿の美味しい魅力の発信に取り組んでいます。

現地の方々・文化への尊敬と理解、共同を大切にすることは海外協力隊の活動と共通するものがありますね。

佐久間さんの取り組み詳細はこちら！⇒<https://shonaispecial.jp>



★JICAでは学校現場における開発教育を推進する事業を行っています。お気軽にお問い合わせください。




JICA 山形デスク

☎023-646-6267

✉ jicadpd-desk-yamagataken@jica.go.jp

2023年前期 AIRY 日本語教室



	ちゅうきゅうくらす 中級クラス	にほんごのうりよくしけん JLPT (日本語能力試験) ごうかくくらす N2合格クラス
いつ?	がつ にち か 4月18日(火)から 7月25日(火)まで まいしゅうかようび 毎週火曜日 ぜんぶ かい 全部で15回	がつ にち もく 3月16日(木)から 7月4日(火)まで まいしゅうかようび もくようび 毎週火曜日と木曜日 ぜんぶ かい 全部で30回
なんじ?	18:30~20:30	18:30~20:30
どんなクラス?	せけん 「世間」「はじめ」「空気を 読む」など、よく使われる ことば 言葉の説明を通して、日本 人の感性や日本文化が学 べます。	にほんごのうりよくしけん JLPT (日本語能力試験) N2に ごうかく 合格できるように勉強します。 
いくら?	えんげいこみ かいいん えんげいこみ 5,000円税込(会員1,000円税込) てきすと だい べつ テキスト代は別にかかります。	えんげいこみ かいいん えんげいこみ 9,000円税込(会員5,000円税込) てきすと だい べつ テキスト代は別にかかります。
どこで?	やま がた けん かく さい こうりゅう せん た ー けん しゅうしつ 山形県国際交流センター研修室	

AIRYでは外国の民族衣装を貸し出しています

国際交流イベントなどで民族衣装を活用しませんか? 貸出を希望する方はAIRY備付の「民族衣装等貸出簿」を提出願います。また、使用後はクリーニングの上返却してください。

貸出物品の例

国	名称	備考
中国	チャイナドレス	女性用
ベトナム	アオザイ	女性用 (上下セット)
韓国	韓服	女性用、女兒用、男児用
インドネシア	バティック	上下セット・上着のみなど
モンゴル	ベスト	フリーサイズ
モンゴル	帽子	フリーサイズ
タイ	ツーピース	女性用



チャイナドレス



韓服



帽子

山形県国際交流センター 施設案内

開館時間 9:30~18:00

休館日 月曜、祝日、年末年始

予約
必要

<仙台出入国在留管理局の専門相談会>
偶数月第3金曜日 10:00 ~ 12:00

<外国人向け法律相談>
毎月第4金曜日 10:00 ~ 12:00

<交流サロン>

日本語・外国語の新聞、国際関係資料の閲覧、インターネット接続パソコンの利用などができます。図書コーナーでは、英語、中国語、韓国・朝鮮語など、外国語の書籍の貸出も行っております。お気軽にご利用ください。

<企業向け外国人相談窓口>

「外国人を雇用する際の手続きについて教えてほしい」「技能実習生の受け入れ手続きについて知りたい」など企業からの悩みに対応しています。

TEL 023-645-7600
FAX 023-646-8860
Mail kigyosodan@airyamagata.org
相談日 火~金曜日 10:00~16:00

出張講習会も承ります

県行政書士会
対応相談会
予約不要 毎月第2水曜日
13:00~16:00

<研修室・ボランティア室>

国際交流・国際協力に関する会議、研修、イベント等に無料でお貸しします。研修室の利用は予約が必要です。

利用の際は、新型コロナウイルス感染症防止対策を取っていただくようお願いしております。

<外国人相談窓口>

県内に住んでいる外国人やそのご家族のための相談窓口を開設しています。日常での困りごと、在留資格など様々な手続きに関する相談を、日本語と外国語で受け付けています。

TEL 023-646-8861
Mail soudan@airyamagata.org

言語	曜日	相談受付時間
英語・日本語	火~土	10:00~17:00
中国語	火・金	10:00~14:00
ポルトガル語	水	
韓国・朝鮮語	木・土	
タガログ語	金	
ベトナム語	第2・4土	

山形市城南町一丁目1-1
霞城セントラル2階
TEL : 023-647-2560
FAX : 023-646-8860



LINEやFacebook
でも相談できます。
是非ご利用
ください。



～取材の楽しみ～

ここ数年、機関誌に「山形で働く外国人」と「国際交流団体活動紹介」のコーナーを設けており、県内各地で取材するのを楽しみにしています。
今回の取材で大石田町のブルーノさん宅へお邪魔した際は、石造りの家で薪ストーブの火を囲みながらお話を聞いてみると、「ここはヨーロッパではないか」と錯覚するようでした。川西町国際交流協会のリチャードさんとはローカルな食堂で定食を食べながら、活動のやりがいや資金繰りの難しさについてお話を伺いました。「将来を担う子供に広い視野を持ってほしい。そのために協会が貢献できれば。」と語っていた姿が印象的でした。(日野)



リチャードさんのおにぎり定食